

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	大阪スクールオブミュージック専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	カレッジ音楽科	夜・通信	5910 時間	240 時間	
	商業音楽科	夜・通信	3300 時間	160 時間	
	プロミュージシャン科	夜・通信	4230 時間	160 時間	
	キャリアプログラム科	夜	1080 時間	90 時間	
	音楽ビジネス研究科	夜・通信	960 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.osm.ac.jp/school/public_info/publicinfo_pdf/O2/2_jitsumu.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪スクールオブミュージック専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.osm.ac.jp/school/public_info/riji.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
(備考) 2020年4月1日までに、複数の学外者である理事の選任を確実に実施する。			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪スクールオブミュージック専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて原案を作成の上、学校長が決定する。 学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明した上、学校ホームページにて公表。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/syllabus.pdf
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 全学科、各学期末の定期試験(実技・筆記・レポート等)の成績により学習成果の評価を行い、単位認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り</p> <p>出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格</p> <p>上記の指標を学生便覧にて学生に公表。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/osm_gpa_grade.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/public_info_pdf/02/2_judgment_criteria.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	大阪スクールオブミュージック専門学校
設置者名	学校法人コミュニケーションアート

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/publicinfo_pdf/08/8_finance.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/publicinfo_pdf/08/8_finance.pdf
財産目録	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/publicinfo_pdf/08/8_finance.pdf
事業報告書	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/osm_jigyohoukokusho.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.osm.ac.jp/school/public_info/publicinfo_pdf/08/8_finance.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	カレッジ音楽科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
3年		2910 単位時間	240 単位 時間	2670 単位 時間	単位時間	単位時間	
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		92人	14人	5人	9人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準

(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
(概要) スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28人 (100%)	3人 (10.7%)	7人 (25.0%)	18人 (64.3%)
(主な就職、業界等) レコーディングスタジオ、作曲家事務所、映像制作会社など			
(就職指導内容) 就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) 作家契約を希望している卒業生は卒業後もデビュー活動中として一時的な仕事に就き活動を行っている。活動については卒業後の支援を行っている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
92人	3人	3.2%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、病気・治療、学生生活不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	商業音楽科	○	-			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1980 単位時間	270 単位 時間	1710 単位 時間	単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
240人	263人	8人	6人	10人	16人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
103人 (100%)	0人 (0%)	89人 (86.4%)	13人 (12.6%)
（主な就職、業界等）音響会社、照明会社、映像会社、事務所・プロダクションなど			
（就職指導内容）就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項) 卒業後の就職希望者は決定まで卒後支援を行う。卒業後の転職活動もサポートしている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
263 人	23 人	9.1%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、病気・治療、学生生活不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	プロミュージシャン科	○	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2040 単位時間	240 単位 時間	1800 単位 時間	単位時間	単位時間	単位時間
	単位時間						
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320 人	185 人	9 人	4 人	9 人	13 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。

<p>学修支援等</p> <p>(概要) スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。</p>
--

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
92人 (100%)	17人 (18.5%)	4人 (4.3%)	71人 (77.2%)
(主な就職、業界等) レコード会社、楽器店、音楽業界など			
(就職指導内容) 就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) ヴォーカリストやミュージシャンのプロダクション所属希望の卒業生は卒業後もデビュー活動中として一時的な仕事に就き活動を行っている。活動については卒業後の支援を行っている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
185人	12人	6.5%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、進路変更、病気・治療、学生生活不適合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	キャリアプログラム 科	-	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	夜間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	夜間	1080 単位時間	120 単位 時間	960 単位 時間	単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	5人	0人	1人	8人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
（概要）既に全学科GPAでの成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準
（概要）全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
（概要）スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	2人 (100.0%)
（主な就職、業界等）在校中から勤めていた勤務先にそのまま勤務			
（就職指導内容）就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項) ミュージシャン活動を続けていくための支援を2名ともに卒業後の支援を行っている。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	1人	16.6%
(中途退学の主な理由) 経済的理由		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	文化・教養専門課程	音楽ビジネス研究科	-	-			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	960 単位時間	0 単位時間	960 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	39人	0人	1人	8人	9人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全学科、教育課程編成委員会からのご意見も参考に、教務部にて、原案を作成のうえ、学校長が決定する。学生便覧にて、授業開始前の4月上旬に学生に説明したうえ、本校ホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 既に全学科 GPA での成績評価基準を用いて、下位4分の1の学生を割り出している。評価基準は下記の通り 出席時数3分の2以上、評価点数100～90点：S(4.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数89～80点：A(3.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数79～70点：B(2.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数69～60点：C(1.0) 合格 出席時数3分の2以上、評価点数59～0点：D(0.0) 不合格 上記の指標を学生便覧にて学生に公表。
卒業・進級の認定基準

(概要) 全学科、学生便覧にて、卒業認定要件を示し、卒業認定会議で学校長の確認・決定のうえ、認定している。
学修支援等
(概要) スチューデントサービスセンターを設け、専門カウンセラーを配置し、学修に対して困難な学生をサポートしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
43人 (100%)	0人 (0.0%)	0人 (0.0%)	43人 (100.0%)
(主な就職、業界等) テーマパーク、ヴォーカルグループなどで活動			
(就職指導内容) 就職対策の授業、履歴書・プロフィールシートの作成、校内での企業説明会「合同企業説明会・新人発掘プレゼンテーション」など			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項) ヴォーカリストやミュージシャンのプロダクション所属希望の卒業生は卒業後もデビュー活動中として一時的な仕事に就き活動を行っている。活動については卒業後の支援を行っている。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
43人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 欠席者の早期徹底フォロー、学費分割、延納制度、保護者面談、三者面談、補習など		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
カレッジ 音楽科	100000 円	840000 円	695800 円	
商業音楽 科	100000 円	840000 円	695800 円	
プロミュ ージシャ ン科	100000 円	840000 円	695800 円	
キャリア プログラ ム科	100000 円	400000 円	290000 円	
音楽ビジ ネス研究 科	100000 円	200000 円	162000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
納入スケジュールでの学費納入が難しい方に対し、延納、分納措置を行っている。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
https://www.osm.ac.jp/school/public_info/2018_osm_jikohyouka.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
自己点検自己評価を行い、教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。(教育理念・目標、学校運営、教育活動、学修成果、学生支援、教育環境、学生の受入れ募集、財務、法令等の遵守等)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
卒業生代表	2019年4月1日～2020年3月31日	卒業生
保護者代表	2019年4月1日～2020年3月31日	保護者
四條畷学園高等学校	2019年4月1日～2020年3月31日	高等学校関係者
大阪市民生委員 児童委員連盟	2019年4月1日～2020年3月31日	地域関係者
吉本興業株式会社	2019年4月1日～2020年3月31日	企業
ヒビノ株式会社	2019年4月1日～2020年3月31日	企業
学校関係者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.osm.ac.jp/school/public_info/2018_osm_jikohyouka_shuuyaku.pdf
第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.osm.ac.jp/ ホームページの記載、学校パンフレット・学生募集要項など郵送
